

* ◆は各地区で決めた「計画の副題」です

相良地区 ◆生きのびろ計画 救一ピット作戦

【避難場所について】

避難タワー・いのち山の整備、ヘリポートの設置（相良庁舎、相良小中高の屋上）、相良総合グラウンドのトイレ増設

【避難路について】

晴海台や八幡神社をはじめ各避難路への手すりの設置、秋葉山の参道を整備して避難路に活用、避難路のソーラー照明設置など街灯整備、ブロック塀などの倒壊対策、道路の補修、萩間川沿いの誘導看板整備。



ゲームで楽しい雰囲気づくり



市民ファシリテーターによる進行

◆浜っ子みんないるかぁ～「縦に走ろう計画」 片浜地区

【避難場所について】

若宮八幡前などの空き地を盛土し避難地とする。避難場所の草刈、拡張整備、裏山の山崩れ対策。

【避難路について】

標高10m程度の山沿いに避難地としても使える大江から鹿島まで結ぶ新しい道路を造る。防潮堤を兼ねた道路の整備。ラムネ川などへの転落防止柵設置、大磯川の擁壁修繕。

地頭方地区 ◆津波より高く きずけ地域の絆

【避難場所について】

地頭方地区全般の避難地の拡張・整備。長期間の避難に備え備品・備蓄の整備（NOKグラウンドや見寺など）。落居区全般の地すべり区域の対策。避難公園の整備。

【避難路について】

新遠渡坂の耐震化や、遠渡グラウンドゴルフ場付近の避難路の舗装。東沢川河口の水門設置。



テーマについて活発な意見交換



グループでまとめた意見を発表

◆みんなで生きのこり隊 川崎地区

【避難場所について】

既存施設を新たな避難場所として活用する。保養センター跡地にいのち山、静波西保育園跡地に避難タワーを造る。清浄寺、かりんぼの里など高台の避難地への飲料水タンクの設置。

【避難路について】

反射板を避難路に設置。歩道の整備。防波堤を兼ね、国道150号（榛南幹線）のルート変更とかさ上げ。勝間田川の土手のかさ上げ。

細江地区 ◆生きる備え 未来へ走れ より高く

【避難場所について】

避難場所として区域内の大型商業施設をはじめとした民間施設を活用。榛原総合病院の避難地としての利用。避難タワー・いのち山の整備（細江1号幹線沿い、県営住宅東側など）。坂口谷川水門の整備。

【避難路について】

みのり幼稚園北側の水路にふたを設置。沢垂川などに架かる橋の補強。



重要だと思う意見に投票



昨年9月に行った「まち歩き」の様子（片浜地区法京グループ）

地域を守るチカラ

「地区津波防災まちづくり計画」を策定中

市では、昨年7月から沿岸部5地区で「地区津波防災まちづくり計画」の策定を進めています。各地区の団体などから選ばれた皆さんが意見交換を行い、3月末の計画決定に向けて取り組んでいる様子をお知らせします。

問い合わせ 地域政策課 飯塚 ☎0053

この計画は、沿岸各5地区と市が一緒につくり上げるものです。地域の皆さんの中に果や市、警察や消防などさまざまな関係機関の職員が加わり、ワークショップ形式で意見交換を行い（これを本市では「男女協働サロン」と呼びます）、災害時の行動計画として取りまとめていきます。昨年12月までに5回の男女協働サロンを開催。現状を把握するための「まち歩き」を実施し、災害から身を守るための具体的な取り組みを検討してきました。9月に行ったまち歩きにより地区の課題を確認・整理し、そこから大きく5つの取り組みテーマ（避難場所、避難路、サイン・情報提供、日ごろの意識・避難訓練、弱者対策）を決定しました。避難場所や避難路の整備など、ハード事業については具体的な取り組みが検討され、避難タワーの整備や民間施設の活用、避難路の新設や補修

■SNSにより幅広く意見を募集

地区の意見交換会に参加することが難しい高校生や子育て世代、専門家などから意見を募集、その情報を共有するために、疎電通との協働で新たなSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス。社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのこと）を試験運用し、津波からいのちを守るためのアイデアを募集しました。（募集期間：昨年12月14日から1月8日までの20日間）寄せられたアイデアについては、第6回目のサロンで、各地区の検討案へ盛り込まれていきます。

避難路案内看板の設置、ブロック塀の倒壊対策など多くの意見が出されました。また、日ごろの意識や避難訓練、弱者対策などのソフト事業については、現在取り組み案を検討中で、「防災訓練を楽しむながらできる内容にする」「被災シミュレーション映像を作る」「災害弱者を助けるための避難訓練を実施する」など多くの意見が出ています。5つの取り組みテーマの中から、各地区のハード事業に関する意見の一部を紹介いたします。（全てが計画に盛り込まれるわけではありません）これらの意見をまとめ、3月に計画書案を作成する予定です。

■地区津波防災まちづくり計画の進め方

第1回 (8月27日 ～31日)	第2回 (9月22日、 一斉開催)	第3回 (10月15日 ～19日)	第4回 (11月19、20、 22、26、27日)	第5回 (12月17日 ～21日)	第6回 (1月21日 ～25日)	第7回 (2月25日 ～3月1日)
◆趣旨説明 地区の現状把握		課題・検討項目 の整理		具体的検討		計画書案 の 作成
〈実施内容〉 現状確認のための「まち歩き」ルートを定める		〈実施内容〉 現地での「まち歩き」を実施		〈実施内容〉 課題のまとめ 取り組みテーマごとの検討		